



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田尚洋
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長(氏名) 杉本貞章 (TEL) 054-205-6363
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,416	39.9	1,796	505.4	1,985	126.3	1,296	121.0
2021年3月期第3四半期	8,878	△31.1	296	△52.3	877	△8.6	586	△17.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,477百万円(140.8%) 2021年3月期第3四半期 613百万円(△17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	175.89	—
2021年3月期第3四半期	79.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	32,585	22,358	68.2
2021年3月期	37,247	21,423	57.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 22,219百万円 2021年3月期 21,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	48.50	48.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.4	2,400	44.7	2,500	3.2	1,550	6.1	206.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社YCK 、除外 1社(社名) 東海道リート投資法人

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	8,030,248株	2021年3月期	8,030,248株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	790,693株	2021年3月期	532,407株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	7,372,453株	2021年3月期3Q	7,417,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き厳しい状況で推移いたしました。度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施も、ワクチン接種率の増加や感染対策の浸透もあり2021年9月末をもって解除され、社会経済活動の正常化への期待感が高まりました。しかし直近では感染力が強いとされるオミクロン株により感染が再拡大し不透明な状況で推移いたしました。また海外経済においてもオミクロン株による一部地域での感染再拡大や、原油価格や原材料価格の高騰による世界的な物価上昇などもあり不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産業界でも厳しい状況で推移いたしました。このような環境下にあつて当社グループの不動産事業分野では、流動性の高い不動産を確保し企業誘致や宅地造成などの提案や在庫分譲マンションの早期完売などの積極的な営業活動を推進してまいりました。また、当社グループの資産運用会社が資産の運用を受託する東海道リート投資法人は2021年6月22日に東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場いたしました。不動産証券化事業への取組みとして不動産投資法人の上場を機に今後より一層、産業・生活インフラアセットへ投資することを目的とした収益不動産の開発・獲得・供給を積極的に行ってまいります。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、製品製造部門より撤退し、当期より製品企画などを強みとする営業活動を実施してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は124億16百万円（前年同四半期比39.9%増）、営業利益は17億96百万円（前年同四半期比505.4%増）、経常利益は19億85百万円（前年同四半期比126.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億96百万円（前年同四半期比121.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、在庫分譲マンションの引渡しが行われましたが、新規マンションの引渡しが無かったことなどにより、減収減益となりました。この結果、売上高は5億2百万円（前年同四半期比45.3%減）、セグメント利益(営業利益)は8百万円（前年同四半期比86.3%減）となりました。

②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、不動産投資法人への収益不動産の引渡しに加え、分譲宅地や商工業施設用地などの引渡しが順調に行われたことにより、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高は69億8百万円（前年同四半期比60.6%増）、セグメント利益(営業利益)は17億52百万円（前年同四半期比140.9%増）となりました。

③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、資産運用会社の売上や請負工事売上が順調に推移したこともあり、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高は28億60百万円（前年同四半期比67.4%増）、セグメント利益(営業利益)は4億7百万円（前年同四半期比216.6%増）となりました。

④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、製品企画などを強みとする営業活動を実施し、増収増益となりました。この結果、売上高は11億39百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益(営業利益)は6百万円（前年同四半期は1億77百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

その他事業におきましては、缶飲料製造の売上高が増加したものの費用増をまかなえず、増収減益となりました。この結果、売上高は10億5百万円（前年同四半期比13.4%増）、セグメント利益(営業利益)は31百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は325億85百万円（前連結会計年度比12.5%減）となりました。

流動資産は、販売用不動産などが減少したものの、現金及び預金などが増加したことにより、274億20百万円（前連結会計年度比6.5%増）となりました。固定資産は、投資有価証券などが減少したことにより、51億65百万円（前連結会計年度比55.0%減）となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金などが減少したことにより、65億38百万円（前連結会計年度比54.0%減）となりました。固定負債は、長期借入金の増加により、36億89百万円（前連結会計年度比128.7%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は223億58百万円（前連結会計年度比4.4%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は68.2%（前連結会計年度比10.8ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で、2021年4月30日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,639,247	3,363,493
受取手形及び売掛金	693,726	749,176
商品及び製品	71,210	22,173
仕掛品	270	—
原材料及び貯蔵品	14,030	10,227
販売用不動産	22,607,189	22,396,091
未成工事支出金	148,952	8,322
その他	586,594	876,082
貸倒引当金	△2,714	△5,131
流動資産合計	25,758,508	27,420,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,177,728	475,947
土地	2,450,416	1,655,252
その他（純額）	92,123	103,162
有形固定資産合計	3,720,267	2,234,362
無形固定資産	63,000	57,918
投資その他の資産		
投資有価証券	7,202,673	2,464,470
繰延税金資産	200,914	87,849
その他	373,150	393,222
貸倒引当金	△71,097	△72,311
投資その他の資産合計	7,705,640	2,873,230
固定資産合計	11,488,908	5,165,510
資産合計	37,247,417	32,585,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841,163	933,777
短期借入金	10,001,550	3,681,500
1年内返済予定の長期借入金	490,956	292,408
未払法人税等	721,726	80,982
賞与引当金	43,442	20,709
役員賞与引当金	144,000	—
その他	967,758	1,529,511
流動負債合計	14,210,598	6,538,889
固定負債		
長期借入金	968,390	3,053,405
その他	644,861	635,611
固定負債合計	1,613,251	3,689,017
負債合計	15,823,849	10,227,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,598,300	3,587,284
利益剰余金	17,980,580	18,979,784
自己株式	△355,334	△645,816
株主資本合計	21,323,546	22,021,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,871	198,091
その他の包括利益累計額合計	68,871	198,091
非支配株主持分	31,150	138,696
純資産合計	21,423,568	22,358,041
負債純資産合計	37,247,417	32,585,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,878,094	12,416,785
売上原価	7,214,548	9,324,283
売上総利益	1,663,546	3,092,502
販売費及び一般管理費	1,366,808	1,296,091
営業利益	296,737	1,796,411
営業外収益		
受取利息	187	103
受取配当金	12,909	12,363
仕入割引	5,469	4,281
匿名組合投資利益	509,204	147,411
受取手数料	2,566	2,655
その他	122,564	70,918
営業外収益合計	652,902	237,733
営業外費用		
支払利息	57,014	46,453
損害賠償金	12,000	—
その他	3,012	1,765
営業外費用合計	72,027	48,219
経常利益	877,613	1,985,924
特別利益		
固定資産売却益	31,383	7,592
特別利益合計	31,383	7,592
特別損失		
固定資産売却損	563	—
固定資産除却損	13,226	5,201
特別損失合計	13,789	5,201
税金等調整前四半期純利益	895,207	1,988,316
法人税、住民税及び事業税	316,908	593,187
法人税等調整額	△18,368	46,881
法人税等合計	298,539	640,069
四半期純利益	596,668	1,348,246
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,021	51,529
親会社株主に帰属する四半期純利益	586,646	1,296,716

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	596,668	1,348,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,777	129,220
その他の包括利益合計	16,777	129,220
四半期包括利益	613,445	1,477,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	603,423	1,425,937
非支配株主に係る四半期包括利益	10,021	51,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社は、2021年7月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式258,200株の取得を行っており、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が290,385千円増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末において、自己株式は645,816千円となっております。

(会計方針の変更)

(「収益認識に関する会計基準」の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(「時価の算定に関する会計基準」の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	918,001	4,302,764	1,708,940	1,062,279	7,991,987	886,107	8,878,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,517	265,156	269,674	3,950	273,624
計	918,001	4,302,764	1,713,458	1,327,436	8,261,661	890,058	9,151,719
セグメント利益又は損失 (△)	59,010	727,351	128,722	△177,688	737,396	35,816	773,212

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	737,396
「その他」の区分の利益	35,816
セグメント間取引消去	16,978
全社費用 (注)	△493,453
四半期連結損益計算書の営業利益	296,737

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	502,463	6,908,463	2,860,937	1,139,711	11,411,576	1,005,209	12,416,785
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,500	149,226	153,726	3,318	157,045
計	502,463	6,908,463	2,865,437	1,288,938	11,565,303	1,008,527	12,573,831
セグメント利益	8,100	1,752,008	407,497	6,015	2,173,622	31,624	2,205,247

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,173,622
「その他」の区分の利益	31,624
セグメント間取引消去	△4,601
全社費用 (注)	△404,235
四半期連結損益計算書の営業利益	1,796,411

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。